

# Press Release



2017年10月31日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは10月24日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は [www.covestro.com](http://www.covestro.com) をご参照ください。

## 四半期ベースでは過去最高の業績

### **コベストロ、好調な業績を踏まえて自社株取得を発表**

- グループの売上高は16.9%増の35億ユーロ
- 主要製品の販売量は前年同期比で2.6%増
- EBITDAは50.2%増の8億6千2百万ユーロ
- 純利益は89.6%増の4億9千1百万ユーロ
- フリー・オペレーティング・キャッシュフローは1.9%増の6億5千8百万ユーロ
- オンラインプラットフォームによる売上目標は10億ユーロと発表
- 株式資本の最大15億ユーロの自社株取得

#### **ドイツ・レバークーゼン、2017年10月24日**

素材メーカーのコベストロは、2017年前半の好調な勢いが継続し、第3四半期は過去最高の業績を達成しました。純利益は前年同期比で89.6%増の4億9千1百万ユーロになりました。同時に、EBITDAは前年同期比で50.2%の増加、売上高は16.9%の増加となっています。主要製品の販売量は2.6%の増加でした。売上高の増加は主としてポリウレタン事業の販売価格の値上げによるもので、18.4%のプラス効果をもたらしました。フリー・オペレーティング・キャッシュフロー（FOCF）は前年同期比で1.9%増の6億5千8百万ユーロとなりました。これらの好調な業績を



踏まえ、コベストロは FOCF の目標を、2021 年末までに 50 億ユーロの累積 FOCF 達成に修正しました。しかし、グループレベルでは、2017 年の通年ガイダンスを変更しません。

この好調な業績は、コベストロの主要顧客産業における堅調な需要の継続、そして主としてポリウレタン事業の好調な利益率によるものです。

「現在、当社は大きな成長を遂げる勢いがあり、収益や収益性、そして資金創出の記録を更新しています。卓越した資金創出によって株主に当初予想していたよりも早くかなりの還元をすることができ一方で、ボルトオン買収の機会を検討することもできます。したがって、1 日も早く発行済み株式資本の最大 15 億ユーロ、または最大 10%の自社株取得を開始することを決定しました」と、CEO のパトリック・トーマスは述べています。

「現在の勢いから得た資金創出のチャンスを中心に活用するため、積極的に戦略を更新しています。デジタル化は当社の戦略において不可欠です。当社の標準製品を購入するためによりシンプルで、より効率的な方法を顧客に提供することを目指しています。現在、新しいオンラインプラットフォームを開発しています。このプラットフォームは、2019 年末には約 10 億ユーロの売上高を創出することが期待されています」と、マーケティング、セールス、イノベーションを統括する取締役会のメンバーであるマーカス・スタイレマンは説明しました。

これを踏まえ、コベストロではデジタル化に向けての 3 つの範囲を特定しました。デジタルビジネスプロセス、デジタルカスタマーエクスペリエンス、そして新しいデジタルビジネスモデルです。

### **ポリウレタン事業とポリカーボネート事業は高収益**

第 3 四半期には、ポリウレタン事業の主要製品の販売量は前年同期比で 4.3%増加しました。特に TDI 製品グループがこの販売増に貢献しました。EBITDA は前年同期比で 2 倍以上増加し、5 億 5 千 6 百万ユーロになりました。この増加は、主として全般的に好調な需給状況を受けて、利益率が向上したためです。2018 年末までに、MDI 生産能力を倍増し、年産約 40 万トンにするドイツ北部のブルンスビュッテル工場では、すでに棟上げ式を行い、プラントのシェル構造の竣工を祝いました。

ポリカーボネート事業は、主要製品の販売量が前年同期比で 1.5%増を記録しました。この成長は予想どおり、2017 年の第 2 四半期の水準になりました。EBITDA は 8.8%増の 2 億 1 千 1 百万ユーロになり、利益率の向上と販売量の増加がプラス効果をもたらしました。主要顧客産業では、



コベストロはデザイナーと緊密に協力し、未来の製品を開発しています。プロジェクトの一つとして、9月に未来の製品の産業デザイン用にオンラインプラットフォームを立ち上げました。

塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業の主要製品の販売量は、激しい競争環境のため前年同期比で5.0%減少しました。EBITDAは1億1千9百万ユーロで、前年を12.5%下回りました。当グループは、製品範囲を継続的に更新するため限界を押し広げています。最近では、アーヘン工科大学の学生が設計し、コベストロの塗料原料で保護されたソーラーカーが、オーストラリアの砂漠地帯を走破する約3,000キロメートルのワールド・ソーラー・チャレンジに参加しました。

### 2017年の9カ月間は非常に好調

コベストロの2017年第1～3四半期の業績は好調でした。主要製品の販売量は、健全な需要の継続により前年同期比で3.2%増加しました。売上高は19.5%と大幅に増加し、106億ユーロとなり、EBITDAは57.4%増の26億ユーロとなりました。FOCFも23.8%と大幅に増加し、12億ユーロとなりました。9月にドイツ・バイエル社と締結したコントロール終了契約のおかげで、コベストロは完全な独立に向けてさらに一步を踏み出したのです。

.....

### コベストロ社について

コベストロ社は2016年度売上高が119億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、建築、木材加工・家具、そして電気・電子の各産業です。他にもスポーツ・レジャー、化粧品、ヘルスケアや化学の各産業向けに製品を提供しています。コベストロ社（旧バイエル マテリアルサイエンス）は、世界中の30拠点に生産施設があり、社員数は2016年末で約15,600人（正社員）です。詳しくはこちらをご覧ください。 [covestro.jp](http://covestro.jp)

---

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 クロスプレイス浜松町 7F

広報部 梅澤 Tel:03-6403-9112 / Fax:03-3436-1540

---



	2016年 第3四半期	2017年 第3四半期	前年比
	(百万ユーロ)	(百万ユーロ)	%
主要製品販売量	+9.1%	+2.6%	
売上高	3,022	3,532	+16.9
売上高差異			
販売量要因	+6.3%	+2.0%	
価格要因	- 5.1%	+18.4%	
為替要因	- 1.1%	- 3.5%	
製品構成要因	0.0%	0.0%	
EBITDA	574	862	+50.2
EBIT	406	705	+73.6
当期純利益	259	491	+89.6
フリー・オペレーティング・キャッシュフロー	646	658	+1.9

#### 将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト ([www.covestro.com](http://www.covestro.com)) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。